

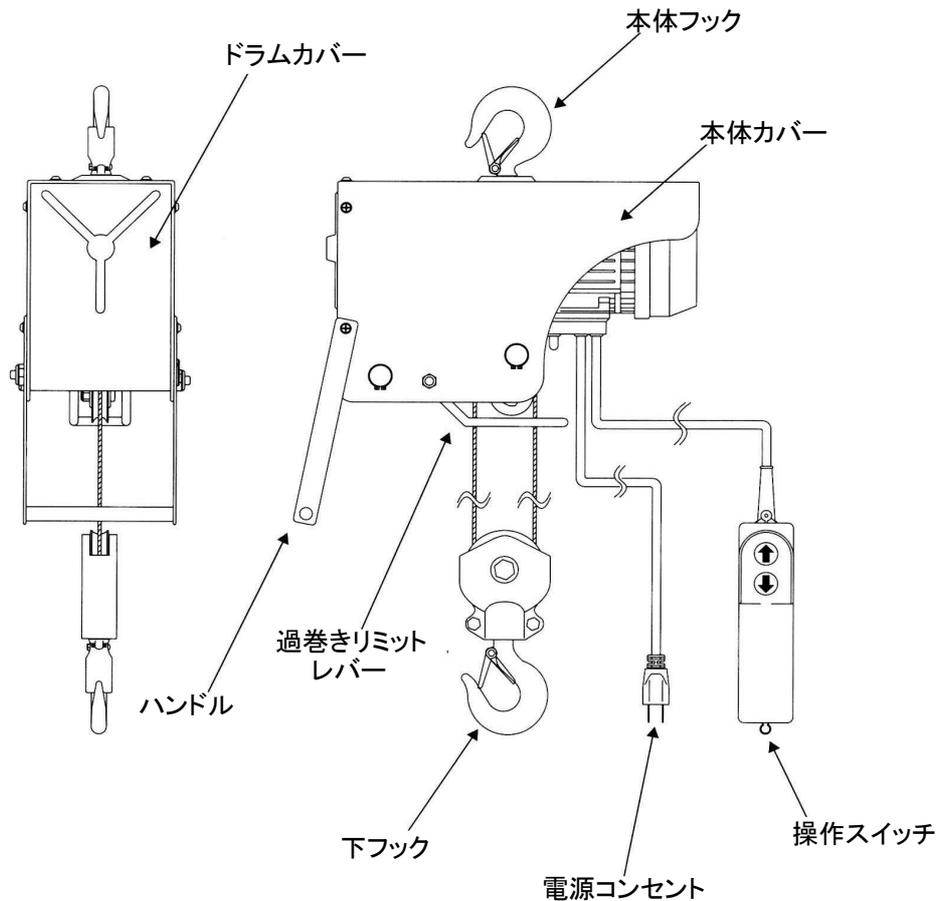
# (電気ホスト)取扱説明書

このたびは当商品をお買上げ頂き誠にありがとうございます。  
ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い申し上げます。

## ■特 長

- 単相100V仕様なのでご家庭でもご使用できます。
- ブレーキ付ギヤードモーター採用により、超低価格での供給が可能になりました。
- 独自のシステムにより、本体の傾きや吊荷の揺れを押さえます。
- 最短フック距離480mmのコンパクト設計です。
- 動作音が低いので場所や状況によらずご使用できます。
- 過巻き防止機能で本体の破損やワイヤーのつまり等を未然に防ぎます。
- 誘導ギヤードモーターの採用で、オイルの交換やカーボンブラシの交換のわずらわしさはありません。

## ■各部の名称



## ■ 安全上のご注意

本機の使い方を誤ると本体の落下や破損、吊荷の落下、感電、発火、火災などの可能性があります。最悪の場合、人命に関わる場合がありますので以下の注意事項を守り、正しくご使用ください。

## ■使用環境について

- ① -10℃以上40℃以下、湿度85%以下の条件でご使用ください。
- ② 直接雨や雪、夜露などのかかる野ざらし状態の所には設置しないでください。
- ③ 粉じん、有機溶剤、爆発性ガスのあるところでは使用しないでください。

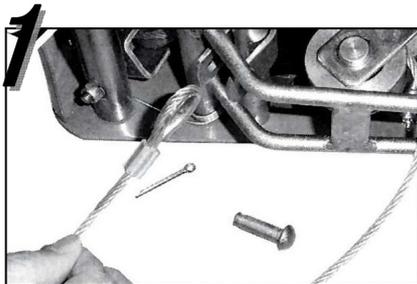
## ■設置について

- ① 十分強度のある所へ設置してください。
- ② 設置は専門的な知識のある人が行ってください。
- ③ 感電の恐れがありますので、必ずアースを接続してください。

## ■ご使用の注意

- ① 単相100V、50/60Hz以外での電圧、周波数ではご使用にならないでください。
- ② 定格荷重を超える荷は絶対に吊らないでください。
- ③ 人の乗る用途には使用しないでください。
- ④ 吊荷の下に人が入らないようにしてください。
- ⑤ 横引き、斜め引きはしないでください。吊荷は必ず垂直に昇降させてください。
- ⑥ 荷物の反転作業は行わないでください。
- ⑦ 本機を2台以上使用して、共吊をしないでください。
- ⑧ 動作に異常があったり、異音、異臭がする場合は直ちに使用を中止し、修理してください。
- ⑨ 吊荷に溶接をしないでください。
- ⑩ フックの外れ止めが破損、脱落した状態では使用しないでください。
- ⑪ 時間定格は5分です。過去の連続運転をすると、サーモスタットにより作動しなくなります。モーターが冷えてから作業を再開してください。
- ⑫ インチング(寸動)、プラッキング(急逆転)をしないでください。
- ⑬ 常時過巻リミットレバーに下フックを当てて停止させないでください。内部リミットスイッチ損傷の原因になります。
- ⑭ ワイヤロープは常に張った状態で運転してください。吊荷が着地しているのに下降スイッチを押しつづけると内部でもつれたり、乱巻の原因になります。そのような場合、ワイヤーを手で引っ張りながら巻き取ってください。
- ⑮ ワイヤロープがドラムに3巻以上巻かれている状態で荷を吊ってください。最大揚程付近でのご使用の場合は特にお気をつけてください。なお揚程以上ワイヤーを出し続けると反転動作が始まります。
- ⑯ 長時間ご使用にならない場合は、電源ケーブルはコンセントから抜いておいてください。
- ⑰ 本体に衝撃等を加えないでください。本体カバーはメインフレームとなっていますので変形しますと円滑な使用ができなくなります。

## ■ワイヤーの交換



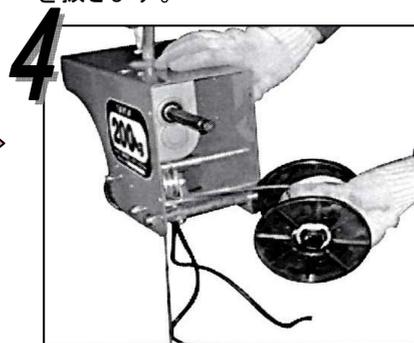
ワイヤーの端末部を割りピンを抜き、ピンをはずして本体から分離します。



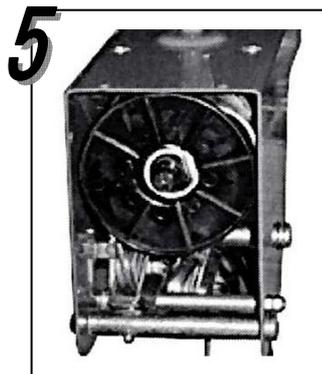
下フック滑車の中心ピンを抜き、ワイヤーを抜きます。



ドラムカバーを取り外します。



古いカートリッジを引き抜き新しいものを挿入します。(但し、ワイヤーのロック部がみえるように挿入してください。)



ドラムカバーを取り付け、ワイヤーを元通り2つの本体滑車に通し、下フック滑車も通し、元通り本体にワイヤーの端末部を取り付けて完了です。